

8/8 島根県議会総務委員会視察



島根県議会総務委員会による視察が行われました。当日は、新城教授から次世代たたら協創センターの説明があった後、関係者はセンター内を視察しました。その後、県内からの進学、県内就職の状況や、材料エネルギー学部を取組等が説明され、意見交換を行いました。



1.次世代たたら協創センター内で研究設備を視察する岸田首相。2.材料エネルギー学部生の発表後、学生と交流する岸田首相。3.出席者で岸田首相を囲んで記念撮影。



材料科学分野に対する先進的な研究・教育の取組を視察
岸田首相、中四国県知事などが本学を視察

島根大学における材料科学分野に対する研究・教育の強化について、山陰はもとより全国的に大きな関心をよんでいます。2023年7月から8月にかけて、岸田首相、中四国地域の全知事、島根県議会総務委員会が相次いで島根大学を視察されました。

産学官連携の状況を岸田首相が視察

7月31日、岸田文雄首相が島根大学を訪問され、島根県における地方創生に資する産学官連携の取組状況や、島根県、島根大学、地域産業界が取り組む「先端金属素材グローバル拠点の創出（通称…たたらプロジェクト）」で整備した研究設備、材料エネルギー学部の授業を視察されました。

服部学長より島根県における地域連携プラットフォームの構築、産学官連携の代表的な取組である「たたらプロジェクト」、地域の産業変革をリードする人材育成に取り組む「材料エネルギー学部」について説明を行いました。首相からは「産学連携や人材育成に非常に良い関係で取り組まれている島根県や島根大学、産業界の取組を理解しました。国としてもこうした良い取組に対して、これからの支援をしていきたい」とのお言葉をいただきました。

その後、首相は高効率モーターの研究開発の鍵となるデジタルサーボプレス（※1）とCNC旋盤（※2）を視察され、次世代たたら協創センターの杓掛助教によるCNC旋盤と協働ロボットを連携させた切削加工実験について、デモを

ご覧いただきました。続いて、2023年4月に新設された「材料エネルギー学部」で実施しているアントレプレナーシップ教育の授業の中間発表を視察されました。発表後、首相から「大学で学んだ研究成果で社会、島根県に貢献することは素晴らしいこと。頑張ってください」と激励の言葉をいただき、学生一人一人と握手を交わされるなど、学生たちにとって大変有意義な時間となりました。

視察を終えた首相からは、会見の席で「島根県や地域産業の方々の期待、そしてたたら製鉄の伝統が息づく地で、地域特性に根ざしながらキラリと光る研究を進める島根大学の意欲、そして地域に役立つ気持ちは持ちながら起業に必要なことを学ぶ若者の熱意、こうしたものを感じることでできました。こうした先駆的な取組を引き続き支援していきたい」とのお言葉をいただきました。

8/23 中四国知事視察



中四国9つの県の知事が松江市に集まり、中四国サミットが開催されました。サミットの開催に合わせ、出席者が島根大学を訪問。次世代たたら協創センターを視察し、服部学長から島根大学や施設の概要に関する説明の後、荒河副センター長が無磁場下における磁性金属材料の変形過程を直接観察できるという点で事実上世界で一台しかない透過型電子顕微鏡を使った研究の説明を行いました。



※1 板金素材に上から高い圧力を加え、装着した金型の形状に打ち抜いたり、変形させるプレス機械

※2 コンピュータ制御で、回転する被加工物に刃物を当てて切削する工作機械。CNC: Computerized Numerical Control